

患者さまへ

当院における 終末期がん患者の死亡直前までの日常生活動作（ADL：
Activities of Daily Living ）に関する実態調査

この研究は 通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究は国が定めた指針に基づき実施されます。研究の対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることができる場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を提示して適切な同意を得ることが必要とされています。同意いただける場合は、その旨を担当者にお伝えください。直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開し、同意頂けない方には、その旨の連絡を頂く問合せ先を明示することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2024 年 1 月～2026 年 12 月の期間において、当院の緩和ケアチーム回診の対象となった患者さま。ただし、リハビリテーションが施行されていない患者さまは対象としません。
2 研究目的・方法	先行研究において、終末期がん患者さんは死の直前まで ADL（日常生活動作）が比較的保たれていると報告されており、死亡する 1 週間前までは約 21.4%の患者さんにおいてトイレ歩行が可能であったとされています。本報告に対し、当院での実態を調査したいと考え研究を立案しました。 研究の目的は、終末期癌患者さんのうち緩和ケアチーム回診とリハビリテーションが施行された患者さんを対象とし、最終歩行練習実施日から死亡退院までの期間を調査し、当院の実態を調査することです。また、先行研究と比較することで ADL 維持のための取り組みを検討することも目的とします。 研究の方法は、通常の診療から得られた情報のみを調査する観察研究で、当院のみで実施します。研究の期間は、実施施設の院長許可後～2026 年 12 月 31 日を予定しています。
3.研究に用いる情報の種類	- 研究対象者背景：性別、年齢 - 医学的情報：診断名、入院日、入院期間、リハビリテーションの処方日、最終歩行実施日、死亡退院日、医療用麻薬の服薬状況、酸素吸入の状況 - 入院中経過：リハビリテーション開始までの期間、リハビリテーション介入期間、最終歩行訓練実施日、最終歩行訓練実施日の医療用麻薬の使用状況と酸素吸入状況、最終歩行訓練日から死亡退院までの期間

4 利用又は提供の 開始予定日	2026 年 6 月 29 日 より
5 情報の保管および 廃棄方法	収集した情報は研究責任者のもと保管します。 保管期間が過ぎた後は当院の手順に従い、個人情報に注意して破棄します。 保管期間：2031 年 12 月 31 日まで（研究の終了より 5 年間）を予定
6 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。また、同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。その場合は、「8 お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
7 研究実施体制	1) 研究責任者 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 副室長 中野 健介 2) 個人情報管理責任者 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 副室長 中野 健介 3) 統計解析責任者 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 副室長 中野 健介
8 お問い合わせ先	本研究への情報利用を拒否したい場合や、その他 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 ＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞ ・研究責任者：岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 副室長 中野 健介 〒596-0042 大阪府岸和田市加守町 4-27-1 電話：072-445-9915（代）